

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-15℃ ~ +60℃	保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃		
	電 圧	AC 100 V , DC 140 V	_____	_____		
	電 流	2 A	適合ケーブル	(φ4.8)		
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗 <sup>(1)</sup>	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	30 mΩ以下	○	—	
		7-スコンタをDC 1 Aで測定する。	60 mΩ以下	○	—	
	絶縁抵抗	DC 250 Vで測定する。	200MΩ以上	○	—	
耐電圧	AC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—		
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	_____ の網製ピンで測定する。	挿抜力 — N 以上	○	—	
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。 但し、ロック機構を含む。	挿抜力 5~50 N	○	—	
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	単位コネクタの接触抵抗: 50 mΩ以下	○	—	
			7-スコンタの接触抵抗: 70 mΩ以下	○	—	
	耐振性	周波数 10~ 55 Hz, 振幅 0.75mm, 加速度 — m/s <sup>2</sup> で 3方向各2時間試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s <sup>2</sup> , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3方向各 3 回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ①破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	コネクタ保持力	圧着結線された適合圧着コネクタを組み込み 後、電線に引張荷重を加え測定する。	20 N 以上	○	—	
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40℃, 湿度 90~95 %中に 96 時間 放置する。	①絶縁抵抗: 2 MΩ以上(高湿時) ②絶縁抵抗: 20 MΩ以上(乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	温度サイクル	温度 -15℃ → 常温 → +60℃ → 常温 時間 30 → 10~15 → 30 → 10 ~ 15 分 を 5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 200MΩ以上 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—	
	耐熱性	温度 +60℃中に 96 時間放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐寒性	温度 -15℃中に 96 時間放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
備考	上記規格値は適合圧着端子(HR10-PC-113(71))を組み込んだ状態での値を示します。 試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(JIS C 5402)を適用している。			承認	TP. KOMATSU	20201118
				検 図	HY. KOBAYASHI	20201118
				担 当	TY. SUZUKI	20201118
				製 図	DS. HIROWATARI	20201113
注	QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-044661-41-00		
<b>HRS</b>	製品規格表		製品名	HR212-10P-5PC(41)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0112-4050-9-41	△ 1/1	